

宮代町郷土資料館だより

# えんがわ

第6号

## 夏休み体験学習教室 「進修学校」

郷土資料館では、西原自然の森内に移築されている百間小学校の旧校舎進修館などにおいて夏休み体験学習教室「進修学校」を8日間に渡り2回開催する予定です。

進修学校とは、明治6年に造られた百間小学校の開校当時の名称です。現在、移築されている進修館は、明治44年に宝生院から現在の百間小学校が建つ西原地内に移されたときに建てられた建物です。

このような歴史ある進修館で、昔の人々の生活の一部を体験することにより、くらしの移り変わりや先人の知恵を学ぶことは、非常に重要であるといえます。



昔の人々は、工夫をしながら「もの」をつくりだしてきました。今回の体験学習教室で土器や帳面を作ったり、絵馬を描いたり、石臼を使うことにより、昔の人々の知恵や苦労を体感すると共に、現在のものの豊かさを実感して頂ければ幸いに存じます。

### 第1回 夏休み体験学習教室「進修学校」

- 7月23日 和紙ノートづくり
- 24日 石臼を使ったお団子づくり
- 25日 絞り染め
- 26日 絵馬づくり(下書き)
- 27日 竹トンボづくり
- 28日 縄文土器づくり
- 8月 1日 絵馬づくり(色塗り)
- 18日 土器焼き

### 第2回 夏休み体験学習教室「進修学校」

- 7月30日 和紙ノートづくり
- 31日 縄文土器づくり
- 8月 2日 石臼を使ったお団子づくり
- 3日 竹トンボづくり
- 4日 絞り染め
- 19日 絵馬づくり(下書き)
- 23日 絵馬づくり(色塗り)
- 28日 土器焼き

※定員は、各20名です。詳しくは7月号広報に掲載予定です。

## 企画展

# 『みやしろの夏祭り』 ご案内

夏は宮代町のあちらこちらで、お祭りが行われます。神社の祭礼はもとより、地区ごとに伝わる民俗行事も数多くあります。そのひとつ、お獅子様についてみてみましょう。

お獅子様は、お獅子様(獅子頭)の一行が地区の家々を回り、厄をはらうお祭りです。お獅子様一行には、お獅子様の先立ち(案内)をする天狗や、到着を告げる触れ太鼓などがあります。家々では酒やつまみを用意して、お獅子様を迎えます。そして、家々から集められた厄は、地区の境の川などに流します。

お獅子様と同様、東叡原鷲宮神社の獅子舞も、舞の奉納の前に、神社の回りを歩きます。これは、以前、家々を回っていた習俗の簡素化で、やはり厄をはらうために行われます。

このように夏の祭りには、家々を回るお祭りが多く見られます。これは、昔

の暮らしの経験から生まれた信仰のひとつといえます。

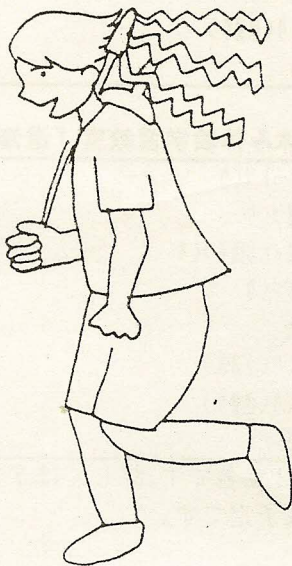
夏は暑く、湿度が高く、水道などの環境が整わなかった昔は、はやり病(疫病)が発生しやすい季節でした。当時、この病は死にいたる恐ろしい病気だったのでムラに入ってこないように、厄払いをして回ったと考えられます。

郷土資料館では企画展「みやしろの夏祭り」を6月12日(水)より開催します。お獅子様や獅子舞のほか、百万遍やとうろう祭り、石尊とうろうなど、各地区で伝統的に行われている夏祭りの写真や祭具(お祭りで使われるもの)を展示します。

年に一度のお祭りではか目に触れることのないものを、この機会にどうぞゆっくりとご覧ください。

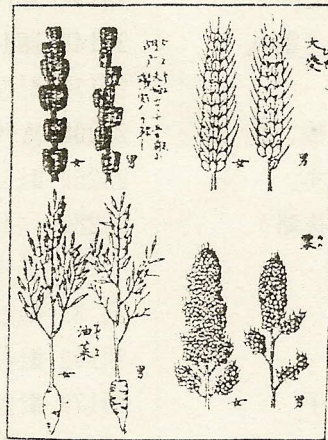
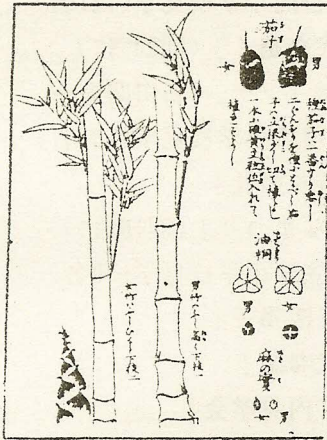
企画展 「みやしろの夏祭り」

期間 6月12日(水)～8月25日(日)



# ～収蔵資料の紹介～ 岩崎家文書より

（いかにして多く収穫するか - 良い苗の見分け方）



万物皆く男女の差別あり何とも女を扱ふは拙り多分科益  
有き 稲田の脚取れり  
上り此ても大かと思召も農氏小代くも無く出稼致し  
俵か論ケもは佳味也アオレハ骨折ク多クも實の豊なり  
先年一斗餘の採りてを引りては種を植て一斗餘の採り  
一斗の跡を待下りて此地の半漸に成りては種を植て  
石を種一斗一町歩一石の跡を待下りては種を植て  
餘りてを引りては種を植て一斗餘の採りてを引りては種を植て  
昔く是を知りては種を植て一斗餘の採りてを引りては種を植て  
以て持て國家の豊饒を測るべし

縄文時代に稲作が始められて以来今日まで、人々は常に、効率良く多くの収穫を得ることについて工夫し、研究を重ねてきました。

上の写真は、明治2年の夏に出版された、農作物の苗について書かれた本です。本のタイトルは表紙がないので分かりませんが、農作物の苗の良し悪しを男女に例え、良い苗を女苗と称し選んで作付けすることで、より多くの収穫をあげるようにと述べています。

本文を読んでいくと、中に「上（天皇

の事）においても大切に思召おほしめされ一粒万倍の功を積み國家の豊饒おぎょうを祈るべし」と述べられています。この本が刊行された明治2年は、開国により様々な西洋の文化が取り入れられ始めた時期にあたり、また、3月には京都から東京へと天皇の皇居も移され、天皇中心の國家へと、日本が変化しつつあった時期でもあります。収穫の増加が個人のためだけでなく、天皇を中心とした「國」のためであるとしているところは、後の富国強兵策の一端をうかがわせています。

## 地蔵院遺跡の発掘調査から

百間小学校6年生の児童が歴史の勉強のため、発掘調査を見学してきました。

- こんなところに縄文時代の村があったなんて！
  - 百間小学校でも遺跡が出たと校長先生がいったよ。
  - 昔はこの辺まで海が来ていたなんて信じられない。
  - バラバラにでてきた土器をどうやってくっつけ資料館で展示するのですか？
- 以上、百間小学校6年生の感想でした。

今回調査を行ったふれ愛センター周辺は、地蔵院遺跡と呼ばれる遺跡で数多くの建物が発掘されています。今回の発掘調査でも、縄文時代（約5,000年前）の竪穴住居の跡や土器、室町時代の井戸の跡、江戸時代の貨幣などが出土しました。



## 資料寄贈者名簿

平成7年7月から平成8年6月までに民具や古文書等の歴史資料を寄贈していただいた方は下記のとおりです。厚く御礼申し上げます。

ご寄贈いただきました資料は今後、企画展等でご紹介させていただきます。

(50音順・敬称略)

青木 佐太	新井 康之
岡本 とし子	押田 晃
折原 高	菊地 正敏
木村竹男	日下部万亀子
中島 久子	中村 克己
野口 丈吉	蓮谷稲荷神社氏子
星野菊之助	松沼 雅敏
森田 留吉	谷島 悦雄

今後、昔を語る様々な資料を収集してまいりますので、ご協力の程、お願い申し上げます。

### コラムークルマの木ー

- ◆資料館にも初夏の季節がやってきました。外を歩いているだけでも日差しがまぶしく、資料館の森の緑も日に日に色濃く深まり、鳥たちも元気にさえずり飛び回っています。
- ◆今年も資料館は企画展をはじめ、石臼をつかったお団子づくり、絞り染めなど、昔の人々がしていた生活に関する作業を体験学習という形で町民の皆様にしていただき、一人でも多くの方に昔の人々の生活を知っていただければうれしく思います。
- ◆なお、資料館の催し物については、広報みやしろや資料館だより「えんがわ」でそのつどお知らせいたしますのでごらんください。

## 資料館日誌抄

平成8年

- 1月19日 宮代町立百間小学校見学(127名)
- 2月14日 企画展「宮代を聴く」(3月24日まで)
- 2月17日 郷土講座「ホツケ」～新田開発～
- 2月20日 宮代町立須賀小学校見学(137名)
- 2月25日 郷土講座「折りの札」
- 2月28日 企画展「ひなまつり」(3月10日まで)  
宮代町立笠原小学校見学(80名)
- 3月 3日 郷土講座「三匹獅子」
- 3月10日 郷土講座「代参講」
- 3月17日 郷土講座「町内見学会」
- 3月29日 企画展「綴じる」(4月21日まで)
- 4月 2日 金原西遺跡試掘調査(4月30日まで)
- 4月20日 宮代町立百間小学校見学(131名)
- 4月13日 体験学習「和綴じ帳面を作ろう」
- 4月24日 企画展「発掘された逆井遺跡」  
(6月9日まで)
- 5月 2日 宮代町立百間中学校写生会(127名)
- 5月 8日 地蔵院遺跡試掘調査(5月24日まで)
- 5月 9日 春日部市立内牧小学校見学(140名)
- 5月18日 体験学習「和綴じ帳面を作ろう」
- 6月12日 企画展「みやしろの夏祭り」  
(8月25日まで)

宮代町郷土資料館だより 第6号

発行年月日 平成8年6月1日

編集発行 宮代町郷土資料館

☎345

埼玉県南埼玉郡宮代町

字西原289番地

☎0480-34-8882